

第 287 回研究報告会 (12 月 16 日)

「和古書の特徴と組織化：情報流通環境の整備に資して」

山中秀夫

図書館は、収集・蓄積した情報源を適確かつ迅速に利用者に提供・利用することが重要である。利用者の情報要求を満たす情報源を探すための基本的ツールとして、目録がある。目録は、情報源が持つ様々な内容的・外面的な特徴をルールに沿って加工し、利用者に提供する。利用者はその情報をもとに、情報要求に資する情報源かどうかを判断（「識別」）する。

和古書は、現代の図書館の主要な情報源である近現代刊行資料とは異なる、生産・流通・利用の側面を持つために、目録もその点を考慮したルールづくりが必要になる。そのため、国内外の研究者・司書の協力も得ながら、近現代刊行資料と異なる側面を整理し必要なルール等を提案した。あわせて和古書の目録作成に必要な参照データの共有システムの構築を進めている。その間、和古書の目録作成と取り扱いができる人材育成のためのワークショップ（2007～2009、2013）も開催した。

「宗教と社会貢献」研究会で書評コメント

金子 昭

2015 年度第 2 回「宗教と社会貢献」研究会が、昨年 12 月 20 日午後、関西学院大学梅田キャンパスにて開催され、私はその第 2 部の書評会でコメントを務めた。この研究会は年に複数回、主に東京と大阪とで交互に行われているが、今回は大阪での開催となった。

第 1 部は研究報告会の部で、2 つの研究報告がともに若手研究者により行われた。初めに、東京大学大学院の安藤徳明氏が「東日本大震災における寺院の避難所開設要因の分析」と題して発表。続いて、京都大学大学院の金田伊代氏が「ターミナルケアにおける神職の可能性」という題で発表した。

その後、休憩をはさんで、第 2 部として、大阪国際大学教授の三木英氏の新刊書『宗教と震災—阪神・淡路、東日本のそれから』（森話社、2015 年）の書評会が、関西学院大学准教授の白波瀬達也氏の司会により進められた。評者は大正大学専任講師の齋藤知明氏と金子昭の 2 名が担当。最初に三木氏による自著説明があり、引き続き 2 名の評者がそれぞれ書評コメントを行った。この後、三木氏がガブライを行い、最後にフロアとの間で質疑応答がなされた。

第 1 部・第 2 部とも活発な討論が行われ、充実した研究会となった。なお、この書評会報告は、「宗教と社会貢献」研究会の電子ジャーナル『宗教と社会貢献』2016 年度第 6 巻第 1 号（4 月刊行）に掲載予定である。

「現代における宗教の役割研究会（コルモス）」に参加

堀内みどり

標記研究会（英語表記の Conference on Religion and

Modern Society から、コルモスと通称）の第 62 回研究会議が ANA クラウンプラザホテル京都を会場に、12 月 26 日午後から 27 日にかけて開催され、澤井義次教授と堀内が参加した。この研究会議は毎年同日に行われているもので、今回のテーマは、「死者（魂）の行方と儀礼」で、26 日には基調講演、27 日にはパネルディスカッションが行われた。

基調講演 1 は、阿部仲麻呂氏（日本カトリック神学会理事）が「Communio Sanctorum（聖徒の交わり）、そして「実存協働」をめぐる—「使徒信条」および「感謝の祭儀」における生者と死者との関わり」と題して発題。「生者と死者との関係性そのものの場と実感」を行わずることの確認について神学研究の視点から詳しいレジュメをもとにした発表があった。基調講演 2 では、佐藤弘夫氏（東北大学大学院教授）が「幽霊の誕生」をテーマに発題。葬送儀礼や死者の取り扱いなどの歴史的な変遷について、現地調査や文献写真などをパワーポイントで紹介しながらの分析・発表となった。

パネルディスカッションでは、櫻井治男氏（皇學館大学名誉教授）を司会として、4 名のパネリストが以下の題目で発表し、午後に全体討議が行われた。

千葉和男（立正佼成会東京西支教室長）：立正佼成会における「死者（魂）の行方と儀礼

三宅善信（金光教泉尾教会総長）：「死者（魂）の行方と儀礼：教派神道の場合」

松本丘（皇學館大学教授）：「神道における死者の行方と儀礼」

村上興匡（大正大学教授）：「葬儀研究と死者（魂）の行方」

なお、コルモスは 1970 年に設立され、浄土真宗本願寺派総合研究所に事務所を置き、その目的として、以下の 4 点を掲げている。1. 諸宗教間の対話と協力の可能性、その意義及び方法を探ること。2. 宗教の立場から現代社会の分析と把握をすること。3. 諸科学の成果に照して、宗教とは何か、宗教は如何に在るべきかを根本的に問い直すこと。4. 現代社会の諸問題で、特に世界平和の問題を検討するなかで、宗教は何を為すべきか、また、為し得るかを問いつめること。

平成 27 年度公開教学講座

天理教と現代社会の生死観

第 5 講 2016 年 2 月 25 日（木）

「古い」 幡鎌一弘

第 6 講 2016 年 3 月 25 日（金）

「死」 安井幹夫

場所：天理教道友社 6 階ホール

時間：10 時～11 時 30 分

（前年度より 30 分繰り上げて開催します）

*お車での来場はご遠慮下さい。